

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	生野区
学校名	大阪市立義務教育学校生野未来学園
学校長名	岡 真由美

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立義務教育学校生野未来学園では、第6学年 111名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

[国語] 全国の平均正答率は66.8%、大阪市は65%、本校は65%であった。

[算数] 全国の平均正答率は58%、大阪市は58%、本校は58%であった。

[理科] 全国の平均正答率は57.1%、大阪市は55%、本校は51%であった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語] 言葉の使い方や特徴に関する事項、我が国の国語文化に関する事項については、平均正答率が大阪市・全国ともに上回っている。しかし、情報の扱い方に関する事項は大きく下回っており課題が大きい。「話すこと・聞くこと」「書くこと」については大阪市・全国との差も小さく、読むことについては若干上回っている。また、無回答率については大阪市・全国とともに下回っている。

[算数] A. 数と計算で、大阪市・全国の平均回答率より上回っている。その他の領域については下回っているが、その差は小さい。また、無回答率については全国のおよそ半分となっている。

[理科] 全ての区分について、平均正答率が大阪市・全国よりも下回っている。特にA区分の「エネルギー」を柱とする領域の差が大きく開いており課題である。平均無回答率は大阪市・全国ともに下まわっている。

質問調査より

「自分には、よいところがあると思いますか」では、肯定的に回答した児童の割合は全国より9.8ポイント下回っていた。「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」で30分より少ないと回答した児童の割合は全国より15.1ポイント下回っていた。自己肯定感や家庭学習習慣において課題が見られる。

「人が困っているときは、進んで助けていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」で最も肯定的な回答をした児童の割合は全国より11.7ポイント、6.6ポイント上回っていた。

今後の取組(アクションプラン)

習熟度別少人数、T・Tなど指導方法の工夫や、後期課程教員による6年生への一部教科担任制などの取り組みを継続し、児童の学習意欲の向上や学力の底上げを図っていく。

児童の学習意欲を高めるためブロック予算や校長戦略予算を活用し、3年以上の学年で英検JRや漢字検定を実施する。また、学びコラボレーターと連携して放課後学習会を実施し、個に応じた指導を行うと共に、児童の自主学習習慣を養っていく。

さらに9年間を通したキャリア教育であるIKUNO未来科のカリキュラムを計画的に進め、町に誇りを持ち、自分に自信を持って社会に羽ばたいていける子どもを育てていく。

【 全体の概要 】

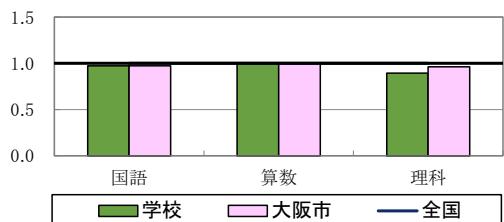
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	65	58	51
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

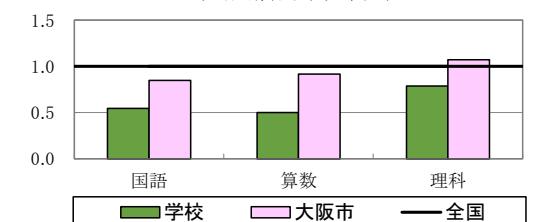
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	1.8	1.8	2.2
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



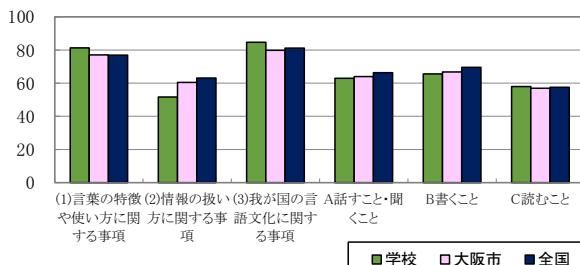
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	81.3	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	51.6	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	84.6	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	63.0	64.0	66.3
B 書くこと	3	65.6	66.7	69.5
C 読むこと	4	58.0	56.9	57.5

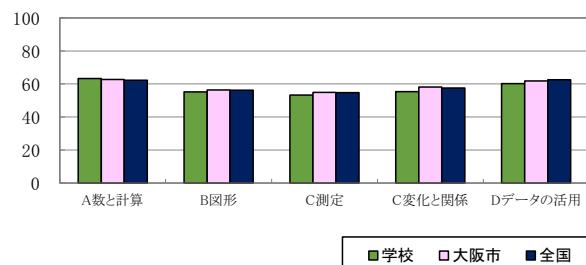
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	63.3	62.7	62.3
B 図形	4	55.2	56.4	56.2
C 測定	2	53.3	54.9	54.8
C 変化と関係	3	55.4	58.2	57.5
D データの活用	5	60.2	61.9	62.6

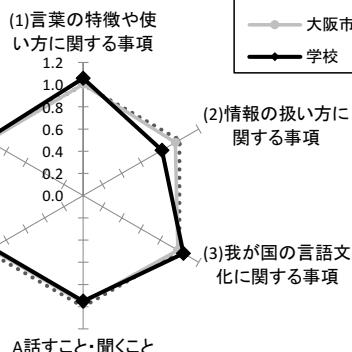
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



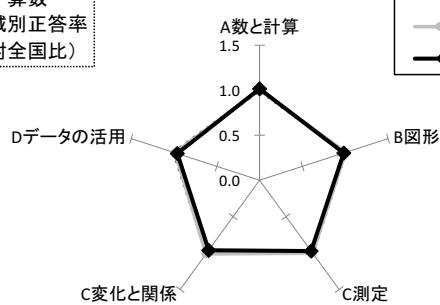
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

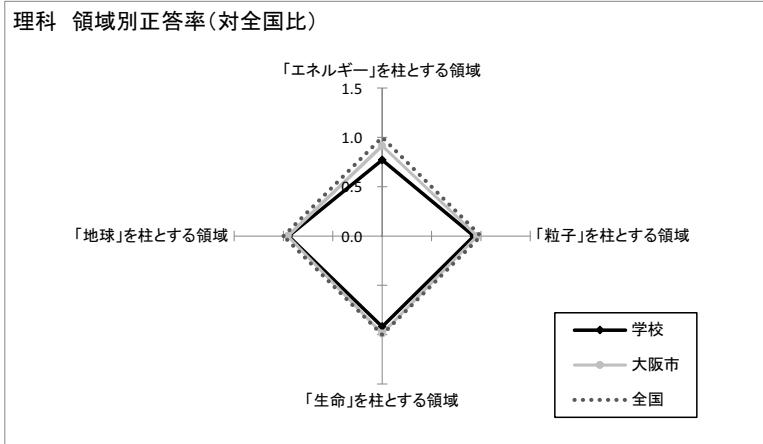
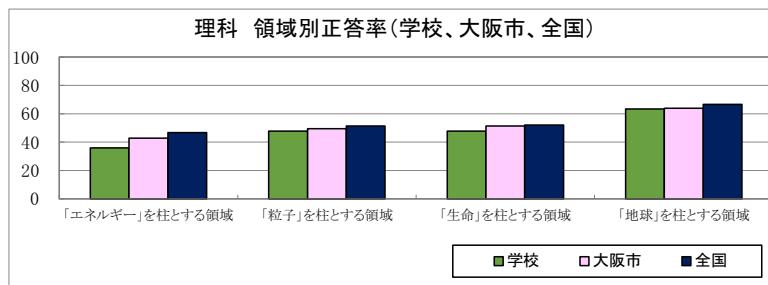


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分 「エネルギー」を 柱とする領域	4	36.0	42.7	46.7
	6	47.8	49.5	51.4
B 区分 「粒子」を 柱とする領域	4	47.8	51.4	52.0
	6	63.3	63.8	66.7



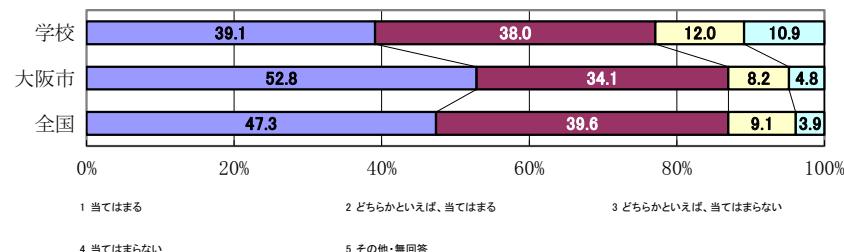
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

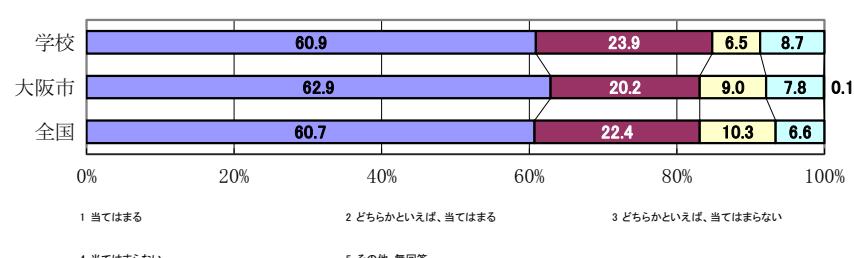
5

自分には、よいところがあると思いますか



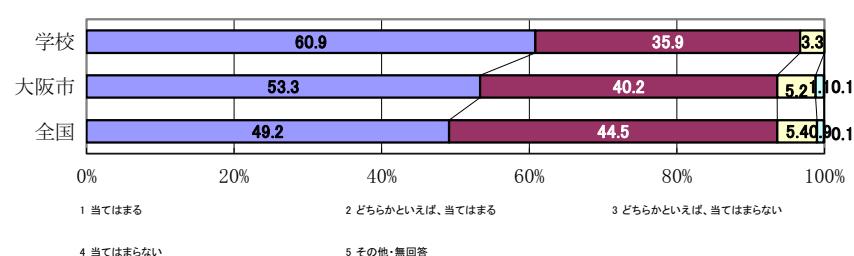
7

将来の夢や目標を持っていますか



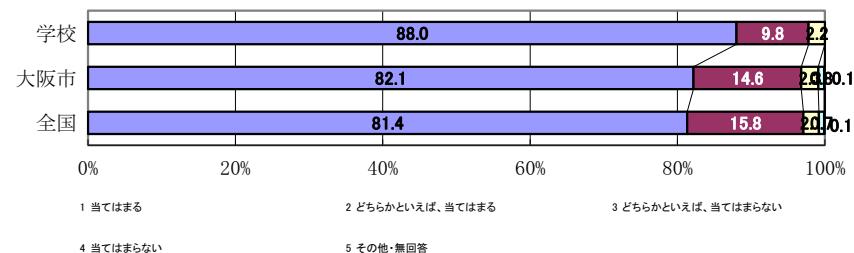
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



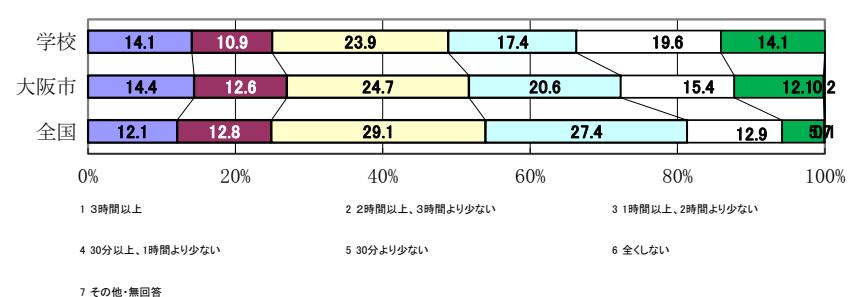
9

いじめは、どんな理由があつてもいいことだと思いますか



17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



学校質問より

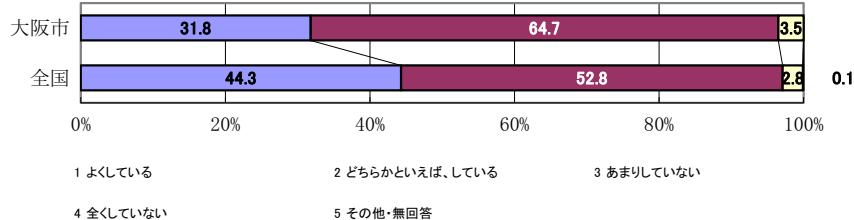
■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■ 9 ■ 10

質問番号
質問事項

15

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

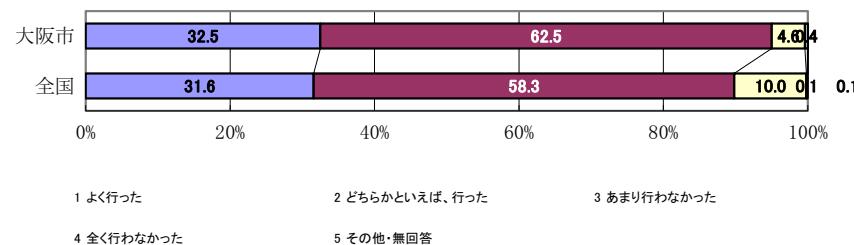
学校 「よくしている」を選択



32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

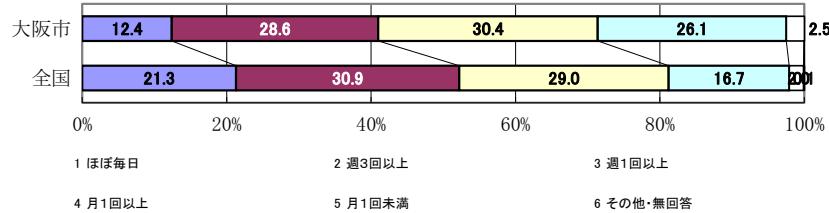
学校 「よく行った」を選択



60

調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

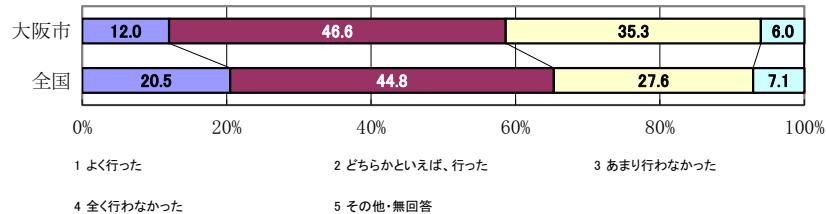
学校 「週3回以上」を選択



72

前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をどの程度行いましたか

学校 「よく行った」を選択



77

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まりましたか

学校 「そう思う」を選択

